

猫と人が幸せに  
暮らすために



## 猫と飼い主の4つの約束

飼い主には命を預かる責任と社会に対する責任があります。

### 室内飼養

猫は環境を整えてあげれば、屋内だけでも十分に幸せに暮らすことができます。  
事故や病気など、放し飼いをしたために命を落としてしまうことも…。  
室内飼養は、猫の健康と安全のためのほかに、他人の敷地で排せつしたり、車を傷つけるなどのご近所トラブルを防ぐことにもなります。

### 不妊去勢手術

生まれた子猫に責任が持てないなら、不妊去勢を行いましょう。望まない繁殖によって子猫を捨てる飼い主がいるのも現実です。不幸な子猫を生み出さないようにしましょう。  
また、不妊去勢手術を行えば、発情期の縄張り行動が抑えられ、家の中で飼いやすくなります。

### 所有者明示

迷子札などで飼い主の身元が分かるものを装着して、飼い猫であることを知らせましょう。  
災害発生時に保護された場合や迷子札が外れてしまった場合にも、確実に飼い主の特定できるようマイクロチップを装着して備えましょう。  
マイクロチップを装着したら、必ず環境省の犬と猫の情報登録に飼い主の情報登録を行いましょう。

### 終生飼養

猫の寿命は約15年。  
飼い主自身の人生の転機、猫が病気や高齢になって介護を必要とするなど状況が変化しても変わらず飼いつけることができるか、よく考えましょう。  
もしも飼育できなくなった場合は、飼い主の責任で新しい飼い主を見つけましょう。

不妊去勢をせず放し飼いをしたり、野良猫にえさを与えたりすることで野良猫が増えています。  
飼うなら猫が危険な目に合わないよう管理すること、えさを与えるならその命に責任を持って飼うもしくは、飼い主を見つけてください。かわいそう、という気持ちで中途半端に関わることはとても残酷なことです。

